

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 心理学専攻 (心理学コース) 修士課程 】
試験科目 【 専門試験 心理学 】

【出題意図】

心理学を学問として実践的に理解するために、研究方法論に関する基礎的知識を踏まえて実験計画の妥当性や限界を批判的に検討する力と、心理学の主要領域にわたる概念を的確な専門用語で簡潔に説明する力を総合的に評価する。

I. 以下の問題文に従って解答しなさい。

ある研究では、課題遂行における背景音楽のテンポ効果を検討するために、「オリジナルのテンポ」「遅いテンポ」「速いテンポ」の3条件を設定した。実験デザインは、同一参加者が別日に割り当てられた3条件すべてに参加する被験者内計画(within-subjects design)とした。

最初の参加日は必ずオリジナル楽曲条件とし、2回目・3回目は遅いテンポ条件と速いテンポ条件を割り当て、これら二つの条件については参加順序をカウンターバランスした。しかし、3回目まで参加できない者が多く、結果として「速いテンポ条件への参加者が少ない」「遅いテンポ条件も欠損者が出た」という状況になったため、研究者は足りない条件にのみ新規参加者を追加してデータを補った。

[問]上記の実験方法における方法論上の問題点・妥当性への影響を、具体的に説明しなさい。

【出題意図】

- ・ 被験者内計画の条件(全条件同一参加者)を理解しているか
- ・ 被験者脱落によるバイアスを説明できるか
- ・ 新規参加者投入により「被験者内+被験者間の混在」になる問題に気づけるか
- ・ 初回が必ずオリジナル条件であることによる順序効果の混入を指摘できるか
- ・ 結果解釈の妥当性が損なわれる理由を論じられるか

【解答例】

本研究には、複数の方法論上の問題がある。

第1に、オリジナル条件を必ず初回に実施したことによる順序効果の混入である。

被験者内計画では、条件の順序を均等化しなければ、学習効果、慣れ、緊張の低減など「参加回数に伴う変化」が特定の条件に結びついてしまう。本研究では、オリジナル条件が常に1回目となるため、他条件との差異がテンポの効果なのか、単に「初回と2・3回目の違い」なのか区別できない。

第2に、参加者の脱落(attrition)によるデータ欠損が、被験者内計画の前提を崩している点である。本来、被験者内計画では同一の参加者が全条件を経験することが必要だが、本研究では2条件のみ参加した者が多数存在し、3条件を完了した参加者が少数になっている。これにより、条件比較における個人内統制が失われ、統計分析が困難になる。さらに、脱落者と継続者の特性が異なる場合、結果に体系的なバイアスが生じ得る。

第3に、不足条件にのみ新規参加者を追加したことにより、デザインが「被験者内」と「被験者間」の混在となった点である。速いテンポ条件と遅いテンポ条件は、新規参加者を多く含む一方で、オリジナル条件は初期の参加者に限定される。このように、特定の条件が特定の参加者群に偏ることで、条件差がテンポの効果ではなく、参加者群の違い(個人差)を反映してしまう危険が高い。

第4に、条件実施の時期・スケジュールの偏りも条件と混同される可能性がある。3回目まで参加できない者が多いということは、速いテンポ条件や遅いテンポ条件が特定の時期・時間帯に偏って実施されたことを意味し、疲労、課題への慣れ、学期スケジュールなど外的要因が条件差として現れてしまう可能性がある。

以上より、本研究のデザインには、順序効果、参加者脱落、被験者内統制の喪失、被験者群の不均質性といった問題が複数存在し、テンポの効果を純粋に検討することが著しく困難になっている。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

II. 以下(1)～(8)の心理学用語を簡潔に説明しなさい。

(1) 刺激性制御

【解答例】ある行動が、特定の刺激の存在・不在によって生じやすくなったり、抑制されたりする状態を指す。

(2) 効果量

【解答例】研究で得られた効果の大きさを、サンプルサイズに依存しない形で数量的に表した統計指標。

(3) カクテルパーティ現象

多数の音や会話が同時に存在する騒がしい環境でも、特定の話者の声や自分にとって重要な情報だけを選択的に聞き取ることができる現象。

(4) アタッチメント

【解答例】乳幼児が養育者(主に母親などの主要な保護者)に対して形成する、情緒的に強い結びつきを指す心理学概念。

(5) 活動電位

【解答例】活動電位とは、神経細胞の膜電位が閾値を超えたときに生じる、脱分極から再分極へと至る一連の電気的変化であり、神経情報伝達の基本単位である。

(6) 進化心理学

【解答例】進化心理学とは、人間の認知・感情・動機づけ・社会行動が、過去の進化環境において生存や繁殖に寄与した適応の産物であるという前提に立ち、それらの機能を明らかにしようとする学問である。

(7) 集団思考

【解答例】集団思考とは、強い凝集性をもつ集団において、合意形成を急ぐ過程で異論や代替案の検討が抑えられ、意思決定の質が低下する現象である。

(8) サイコパシー

【解答例】サイコパシーとは、感情的共感や良心の欠如、対人操作性、衝動性を中核とする人格特性であり、必ずしも犯罪行為を伴うとは限らない。

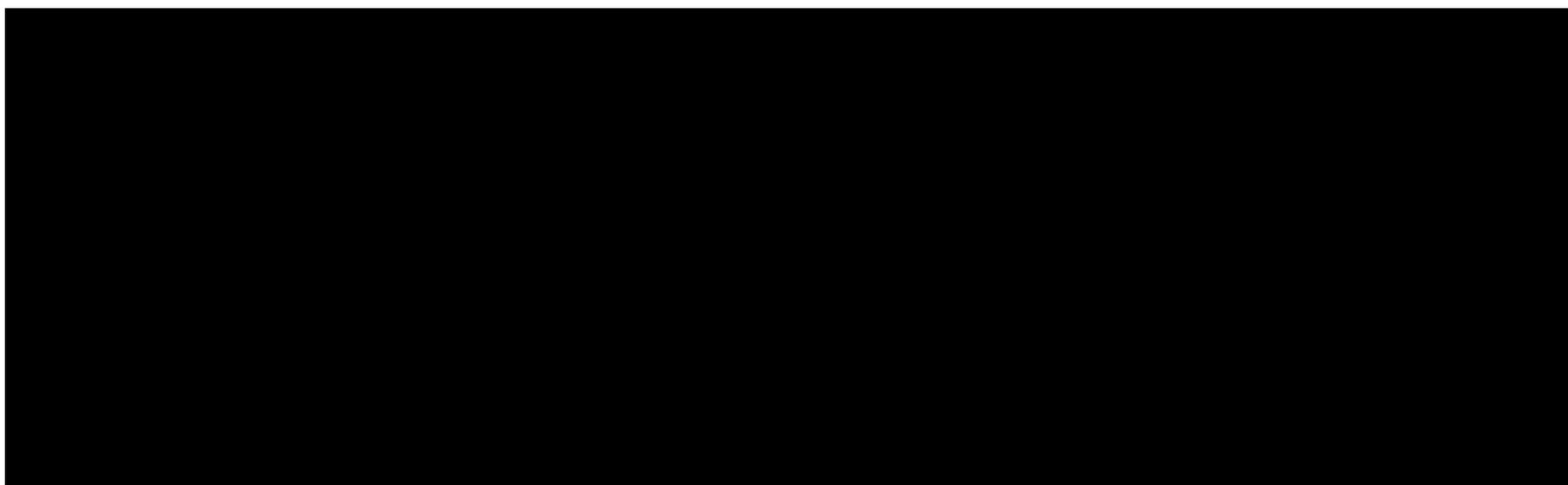
2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 心理学専攻 (心理学コース) 修士課程 】
試験科目 【外国語試験 英語 】

【出題意図】

専門的な英語文献の正確な読解力に加え、英語論文や抄録作成の基礎となる英語の運用能力を測ることを目的とする。

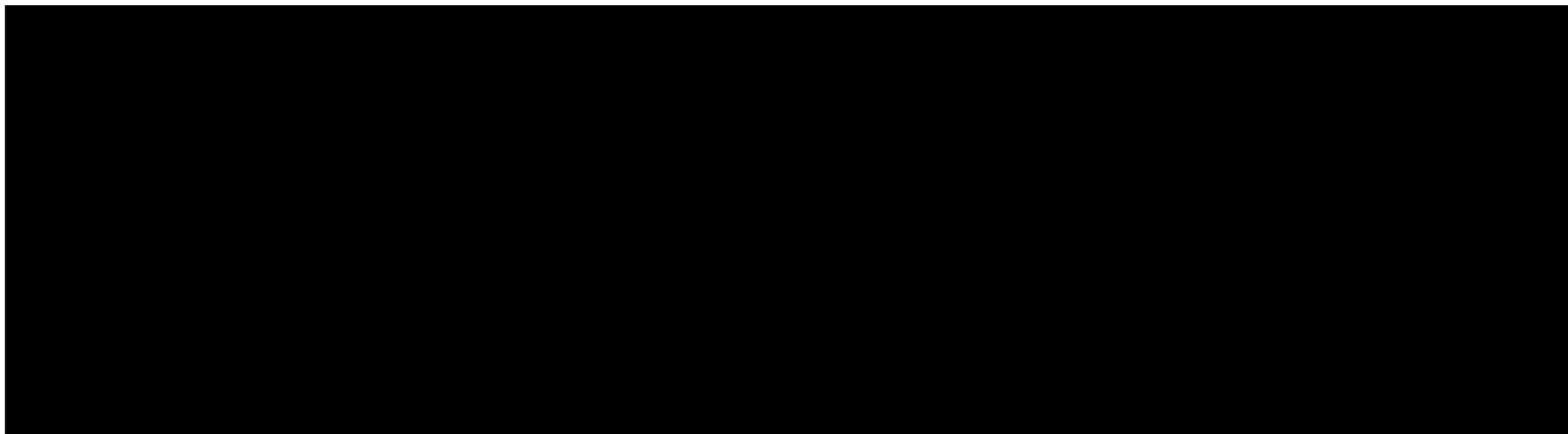
1. 次の英文を日本語に訳しなさい。



《出典》

Howitt, D. and Cramer, D. (2011) Introduction to Research Methods in Psychology. 3rd Edition, Pearson Education Limited.

【解答例】



2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

II. 以下の日本語を英語に直しなさい。

(1) 2つの条件間では、強化を得るのに必要な反応数が異なっていた。

【解答例】

The number of responses required to obtain reinforcement differed between the two conditions.

(2) 実験の前に、実験者は実験参加者に同意書を書いてもらう必要がある。

【解答例】

Before the experiment, the researcher must obtain written informed consent from the participants.

(3) この尺度の短縮版は、オリジナルの尺度と強い相関があると同時に、十分な内的一貫性も示された。

【解答例】

The short-form version of this scale showed a strong correlation with the original scale and also demonstrated sufficient internal consistency.

(4) 評価得点はコントロール条件に比べて A 条件で増加したが、B 条件では低下した。

【解答例】

Evaluation scores in Condition A increased relative to the control condition, while those in Condition B showed a decrease.

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 心理学専攻 (臨床心理学コース) 修士課程 】
試験科目 【 専門試験 心理学 】

【出題意図】

臨床心理学領域（心理療法・研究法・統計）や臨床心理学領域に関連のある心理学の専門的な知識を問う。また、それらの知識を具体的に運用できるか理解度を問う。

I. 以下の問いに答えなさい。

1. 心理療法における共通因子（Common Factors）について説明し、それぞれの心理療法に固有の治療技法（特定因子：Specific Factors）との関係について論じなさい。

【解答に求められる要素・評価のポイント】

- ・ 共通因子について定義を明確にしていること。
- ・ 治療同盟、共感的理解、受容、誠実さ、期待や希望、治療構造などのキーワードを用いて共通因子を具体的に説明されていること。
- ・ 特定因子として、治療技法（解釈・認知再構成法など）を具体的に挙げ、共通因子との関係性について論理的に説明されていること。

2. 測定における信頼性と妥当性について説明し、それらの関係性について述べなさい。

【解答に求められる要素・評価のポイント】

信頼性：「信頼性」は測定の一貫性・安定性（何度測っても同じような結果が出るか）誤差が少なく、繰り返し測定しても同じような結果が得られること。例えば、ダーツで毎回同じ場所に当たる（中心からズレていても）状態。確かめる方法として、再検査法（安定性）、クロンバックの α 係数（内的整合性）などがある。

妥当性：「妥当性」は測定の的確性・適切性（測りたいものを正しく測れているか）測定しようとしている概念を、本当に測定できているか。例えば、ダーツで的の中心（狙い）を射ている状態。確かめる方法として、内容的妥当性、基準関連妥当性、構成概念妥当性などがある。

関係性：信頼性が高くても妥当性が高いとは限らず、高い妥当性は高い信頼性を内包する。

3. 心理的困難 A には、B・C・D という3つが原因として関与していると考えられている。このとき、この3つの要因が A にそれぞれの程度関与しているか検討するための研究計画を立てなさい。その際、使用する分析方法についても具体的に述べなさい。

【解答に求められる要素・解答例】

心理的困難 A と各要因（B・C・D）の関連を調べるため、質問紙による調査を実施する。まず、各変数を数値化できる尺度を用いてデータを収集する。分析には、複数の要因から一つの変数を予測・分析する重回帰分析を用いる。この分析では、心理的困難 A を「目的変数」、B・C・D を「説明変数」として投入する。算出された標準化偏回帰係数の値を比較することで、どの要因がどの程度 A に影響を与えているかを明らかにする。また、決定係数を確認することで、これら3つの要因で心理的困難 A をどの程度説明できているかも評価する。なお、多重共線性の有無を確認し、分析結果の妥当性を検討する。

II. 以下の用語を簡潔に説明しなさい。

1. リバウンド効果（シロクマ効果）

【解答に求められる要素・解答例】

心理学者ウェグナーは、シロクマの映像を見せた後に「シロクマのことを考えないように」と教示する実験を行った。その結果、思考を抑制しようとするほど頻繁にシロクマのことを考えてしまうことを見いだした。このように、特定の思考を抑えようとする努力が、かえってその対象を強く意識させてしまう皮肉な逆転現象をリバウンド効果と呼ぶ。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

2. 逆境的小児期体験

【解答に求められる要素・解答例】

逆境的小児期体験（Adverse Childhood Experiences）はACEとも略され、子ども時代に経験する虐待やネグレクト、家族の精神疾患、貧困などの強いストレスやトラウマとなる体験を指します。これらの体験は成人後の心身の健康問題、失業や貧困、社会的孤立といった生涯にわたる様々なリスクを高めることが研究で示されています。

3. 洞察志向的心理療法

【解答に求められる要素・解答例】

苦しみの背景にある無意識的葛藤を治療的対話を通して自覚し、深い自己理解を得ることで症状改善や人格的成長を目指す心理療法。精神分析に代表され、本人の「気づき」による内的変容を重視する。

4. 欲求階層説

【解答に求められる要素・解答例】

マズローが1960年代に提唱し、人間には欲求階層があり「1つ下の欲求が満たされると次の欲求を満たそうとし、絶えず自己実現に向かって成長するものである」という説である。生理的欲求は、生命維持のための本能的欲求。安全欲求は、予測可能で秩序ある安全な状態を得ようとする欲求、所属欲求は、何かに所属したい、という社会的欲求、承認欲求は、他者から自分の価値を認められたいという欲求である。自己実現欲求は、自分の持つ能力や可能性を最大限発揮し、自分らしい創造的活動がしたいという欲求である。生理的欲求は一次的欲求とされ、その他の欲求は、二次的欲求として、誰にでも共通に認められる基本的欲求とした。また、自己実現欲求は、成長欲求とされ、それ以外の欲求は、満たされる度合いが少ないほど強くなり、満たされることによって減少する欠乏欲求とされた。欠乏欲求が満たされると、成長欲求とよばれる高次の欲求があらわれてくるとされている。

5. 社会的絆理論

【解答に求められる要素・解答例】

人がなぜ犯罪・非行を犯さないのか、という独自の視点を持つ理論であり、家族や学校や友人など愛着を感じる相手の期待に沿おうとする感情的な絆であるアタッチメント、社会で承認された目標達成に関わる意識的な絆であるコミットメント、慣習的な活動に積極的に参加し、犯罪・非行に陥る時間がないほど忙しくしている状態であるインボルブメント、法を正当なものとし、それを遵守しようとする内的な信念であるビリーフなどの社会的絆が弱まると、逸脱行動が起きやすくなるとされる。

Ⅲ. 以下の文の空欄に適する語をそれぞれ下の(a)～(d)の中から選び、記号を書き入れなさい。

1. (a)では、感情が意志決定に影響を与えるメカニズムを説明している。

(a) ソマティック・マーカー仮説 (b) キャノン・ボード説 (c) 表情フィードバック仮説 (d) ジェームズ・ランゲ説

2. レジリエンスには (b)なものだけでなく、獲得的なものも含まれる。

(a) 学習的 (b) 資質的 (c) 社会的 (d) 個人的

3. 2022年（令和4年）施行の改正少年法では、18歳・19歳の扱いについて (b)は、含まれなかった。

(a) 原則逆送対象事件の拡大
(b) 家庭裁判所への全件送致主義の改訂
(c) 一部実名報道の解禁
(d) 特定少年として特例規定を設ける

4. (a)とは、医師と心理師が役割を分担しながらも、患者に協同でアプローチする治療法をいう。

(a) A-T スプリット (b) 治療的アライアンス (c) 補完的役割 (d) リソース・マネジメント

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

5. 自閉スペクトラム症の人は、（ d ）という目標達成に向けて思考や行動を調整する機能に困難を抱えることが多い。

(a)象徴機能 (b)コミュニケーション機能 (c)社会的機能 (d)実行機能

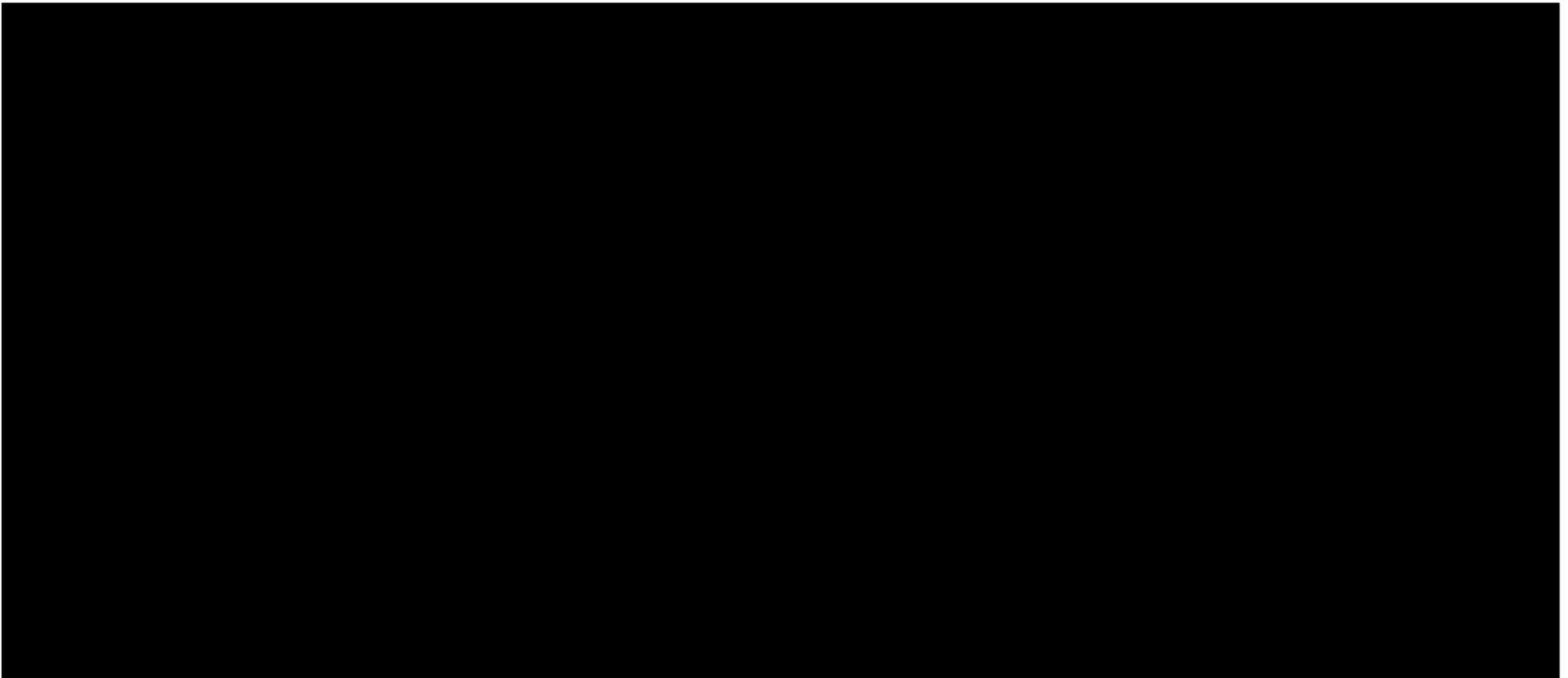
2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻
【 人文科学研究科 心理学専攻 (臨床心理学コース) 修士課程 】
試験科目
【外国語試験 英語 】

【出題意図】

専門的な英語文献の正確な読解力や専門用語の運用能力に加え、英語論文や抄録作成の基礎となる英語能力を測ることを目的とする。

I. 以下の英文を読んで、下記の問題に答えなさい。



出典：Papadima, M. (2019) Rethinking self-harm: a psychoanalytic consideration of hysteria and social contagion.
Journal of Child Psychotherapy 45:291-307

1. 下線部(i)、(ii)、(iii)にあてはまる単語を、以下の(a)～(d)の中から選択し、丸で囲みなさい。

(i) (a)moving (b)parallel (c)coping (d)safety

(ii) (a)scars (b) blood (c)depression (d) maladaptation

(iii) (a) pathological (b)superficial (c) healthful (d)temporary

【解答】

(i) (c) (ii) (a) (iii) (b)

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

IV. 以下の心理学用語を英語に訳しなさい。

【解答例】

- (1) 社会的ひきこもり ⇒ social withdrawal
- (2) 理論と実践 ⇒ theory and practice
- (3) 二重拘束 ⇒ double bind theory
- (4) 神経発達症 ⇒ Neurodevelopmental Disorders
- (5) 特性不安 ⇒ trait anxiety

V. 以下の(1)~(5)の文の()の中にもっとも適する語句をそれぞれ下の(a)~(d)の中から選び、その記号を()内に書きなさい。

【解答】

- (1) The (a) is a semi-projective psychological test designed to assess an individual's typical patterns of response to everyday frustrating situations. Responses are evaluated based on two primary dimensions: the direction of aggression and the type of reaction.
- (a) Picture – Frustration Study (b) Sentence Completion Test (c) Minnesota Multiphasic Personality Inventory
(d) Thematic Apperception Test
- (2) Studying to avoid a bad grade is an example of (b).
- (a) positive conditioning (b) negative reinforcement (c) avoidance conditioning (d) respondent conditioning
- (3) (c) is an aversion or distaste for a particular taste or smell that was associated with a negative reaction.
- (a) Hawthorne Effect (b) Dunning-Kruger Effect (c) Garcia Effect (e) Flavor Effect
- (4) The extinction procedure induces an (c), which is a temporary explosive increase in the behavior being extinguished.
- (a) behavioral experiment (b) spontaneous recovery (c) extinction burst (d) extinction-induced variability
- (5) (a) memory is defined as a type of long-term memory that operates unconsciously and without intentional effort.
- (a) Implicit (b) Sensory (c) Working (d) Semantic